

不登校のこどもの学びとつながり

【現状】

○本市の不登校児童生徒数の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
小学校	333 人	537 人	632 人	811 人	954 人
中学校	644 人	768 人	878 人	1,144 人	1,197 人

○本市の児童生徒の不登校に関する状況

令和 5 年度に実施した「不安や悩み等に関するアンケート調査」※における「一番最初に学校に行きづらい、休みたいと感じ始めたときのきっかけ」（上位 3 項目）※本市立学校に在籍する小学校 5 年生から中学校 3 年生までの児童生徒を対象に実施。

上位	小学生	中学生
1	友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 31.8%	友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 40.8%
2	先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.8%	先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.9%
3	勉強のこと（勉強がわからなかった、授業が面白くなかった、成績が良くなかったなど） 20.3%	友達のこと（いやがらせやいじめ以外） 22.9%

現状・課題

○近年の動き、取組

- ・令和4年12月 生徒指導提要改訂（文部科学省）
- ・令和5年3月 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）策定（文部科学省）
- ・令和5年7月 本市児童生徒の不登校に関する状況を把握するため、「不安や悩み等に関するアンケート調査」を実施
- ・令和6年2月 学びの多様化学校の設置に向けて【手引き】改定（文部科学省）
- ・令和7年2月 本市立学校に在籍する不登校児童生徒求めている支援はどのようなものなのかなどを把握するため、「登校しづらい（登校しづらかった）児童生徒に対する支援に関する実態調査」を実施

【課題】

- 「不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにする」との目的を実現するため、課題解決に向け、以下の取組を推進する必要がある。
- ・楽しく思える、安心できる学校環境の形成
 - ・不安や悩みの早期発見
 - ・不安や悩みの軽減・解消

	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのこどもが安心できる居場所の確保 ・多様な実施主体との連携 ・状況に応じた行動ができる体制の強化
<p>取組の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実態に即した不登校児童生徒支援施策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年 2 月に実施した「登校しづらい（登校しづらかった）児童生徒に対する支援に関する実態調査」の調査結果を分析し、実態に即した不登校児童生徒支援施策を検討 ○楽しく思える、安心できる学校環境の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止授業の実施（法律、SOS の出し方、傍観者から仲裁者や相談者への転換） ○不安や悩みの早期発見 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ認知共有システム（i システム）の活用 ○不安や悩みの軽減・解消 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校につながらないための専門家（スクールソーシャルワーカー等）による個々に応じた支援 ・いじめ認知共有システム（i システム）の活用 再掲 ・SNS 等を活用した相談窓口の設置 ・生活習慣の改善に向けた睡眠教育（みんなく）の実践 ○それぞれのこどもが安心できる居場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援教室での支援（週 5 日開室 3 カ所、週 2 日開室 1 カ所） ○多様な実施主体との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・市長事務部局と連携した不登校児童生徒への支援やいじめの早期発見・早期対応の取組実施 ・堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催 ・不登校児童生徒の保護者同士のつながりをつくるイベント等の開催 ○状況に応じた行動ができる体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校及び小学校 20 校に生徒指導主事を専任配置 ・専門家チームの活用 <ul style="list-style-type: none"> いじめ巡回相談員や臨床心理士、社会福祉士、弁護士等の資格を有するものを派遣し、いじめ・不登校などに対する児童生徒の背景等をふまえた指導助言を行う ・「いじめの重大事態から学ぶ対応事例集」「いじめ対応チェックシート」「いじめの重大事態アセスメントプログラム」「いじめ防止研修動画」の活用 ・教職員の対応力を高めるいじめ防止研修の実施 ・発達段階に応じた情報モラルに関する指導の実施 ・デート DV（性暴力）防止に向けた研修会の実施

(様式 4)

スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者、不登校担当者を対象とした研修）の実施（4月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（5月） <input type="checkbox"/> 教職員の対応力を高めるいじめ防止研修の実施（5月） <input type="checkbox"/> みんなくフォーラムの実施（5月） <input type="checkbox"/> 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（6月） <input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の保護者向けイベントの実施（子ども青少年局と共催）（6月） <input type="checkbox"/> デートDV防止に向けた研修の実施（6月～7月） <input type="checkbox"/> ネットいじめ防止にむけた指導者研修の実施（7月） <input type="checkbox"/> 性暴力被害への予防と対応研修の実施（7月） <input type="checkbox"/> みんなくリーダー研修の実施（7月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（8月）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者を対象とした研修）の実施（10月） <input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の保護者向けイベントの実施（子ども青少年局と共催）（11月） <input type="checkbox"/> みんなくリーダー研修の実施（11月～12月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（2月） <input type="checkbox"/> 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（2月） <input type="checkbox"/> みんなく実践成果報告会の開催（2月） <input type="checkbox"/> 教育支援教室保護者会の開催（3月）	
	次年度以降		
進捗の状況	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者、不登校担当者を対象とした研修）の実施（4月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（5月） <input type="checkbox"/> 教職員の対応力を高めるいじめ防止研修の実施（5月） <input type="checkbox"/> みんなくフォーラムの実施（5月） <input type="checkbox"/> 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（6月） <input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の保護者向けイベントの実施（子ども青少年局と共催）（6月） <input type="checkbox"/> ネットいじめ防止にむけた指導者研修の実施（6月） <input type="checkbox"/> デートDV防止に向けた研修の実施（6月・7月） <input type="checkbox"/> 性暴力被害への予防と対応研修の実施（7月） <input type="checkbox"/> みんなくリーダー研修の実施（7月） <input type="checkbox"/> 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（7月）	
	後期 (～3月)		
堺市基本計画	該当する施策	3－（3）多様性を尊重した教育の推進	
	寄与する	「自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかといえば当てはま	目標値（2025年度）

(様式 4)

未来都市計画 堺市SDGs	KPI	る) 」と答えた児童生徒の割合 [現状値：小 6 83.1% 中 3 73.2% (2019 年度) 小 6 84.0% 中 3 83.3%. (2024 年度)]		小 6 90.0% 中 3 90.0%
		「人が困っているときは、進んで助けている（当てはまる・どちらかとい えば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合 [現状値：小 6 89.3% 中 3 85.4% (2019 年度) 小 6 93.5% 中 3 89.6%. (2024 年度)]		小 6 94.0% 中 3 90.0%
	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに	
	寄与する KPI	—		目標値 (2025 年度) —